

【新潟税務署長賞】

「私にできること」

新潟県立

新潟南高等学校

二年 山田 杏奈

私は、今自分の住んでいるこの町が大好きです。家の近くには、小ささまざまな公園があります。小学校の頃は、放課後になると公園に集まって友達と遊びました。中学生の頃は、部活の帰り道、公園のベンチで暗くなるまでおしゃべりをしてしまい、よく母を心配させました。通学路は広く、春にはツツジの花が鮮やかです。夏は毎年海水浴に行きます。整備された海水浴場は、いつも大勢の人でにぎわっています。テストの前になると、図書館で勉強をします。学習スペースの大きな窓から見える緑の木々は、とても美しいです。

日本国民の三大義務の一つに「納税の義務」があります。まだ学生の私にとっては、これまでは「税金」といってもあまり実感のないものでした。消費税を払うことに対して、損をしたような気持ちになったこともあります。しかし、今回税金について自分で調べていくうちに、学校、公園、図書館、道路など私の生活のほとんどが税金によって支えられていることを知りました。そして、消費税は子供から大人まで広く公平に負担する税であることや、所得税や法人税のように景気に左右されにくい安定した大切な税収になっていることがわかりました。税金は、みんなが安心して生活できるようにするために、みんなが負担し合う社会の会費だと考える

と、自分も消費税を支払うことで少しでも社会に貢献できているような気持ちになります。

日本は、これからますます高齢化社会が進むと予想されています。社会保障費の負担はどんどん増える一方で、働き手の人口は減少してしまいます。高齢者が安心して暮らせる国にするために、また、少子化対策として出産や育児についての支援を厚くするために、消費税率が上がる日は遠くないかもしれません。時代や環境の変化に応じて、森林環境税のように新しい税金も増えるでしょう。今無料で呼べる救急車を海外のように一部有料にする議論もあると知りました。私は社会の一員としてこれからも税制についての勉強を続け、税金をきちんと負担し、使い道について自分の意見を持って発信できるようになりたいです。

私の将来の夢は、教師になることです。いつか私の夢が叶ったとき、私は税金について理解し、正しい知識を子供達に伝え、誇りを持って税金を納めたいと思います。

私の大好きなこの町は、今日も夏休み中の子供たちのにぎやかな声が響いています。